

ホームページ公開・研究対象者情報通知用

研究科題名：回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の
自動車運転再開に関する高次脳機能評価の基準値の妥当性の検証

・はじめに

脳卒中を経験した方が再び自動車を運転できるかどうかは、生活の質や社会復帰に大きく関わる重要な問題です。しかし、安全に運転を再開できるかどうかの判断は簡単ではなく、とくに注意や記憶などの「高次脳機能」に障害がある場合には、より慎重な評価が必要です。

最終的な運転可否は公安委員会が決定しますが、医療機関はその判断の参考となる医学的な情報を提供します。現在は病院ごとに評価方法や基準が異なっており、全国的に統一された基準はありません。さらに、年齢によって検査結果が変わるにもかかわらず、年齢ごとの明確な基準は十分に整備されていないのが現状です。

このため本研究では、脳卒中患者さんの過去のデータを用いて、現在の評価基準が実際の運転再開の判断にどの程度適合しているかを調べ、他の施設の基準とも比較することを目的としています。

・対象

2020年4月1日から2024年3月31日までに当院回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者様。

対象者となることを希望されない方は下記連絡先まで2026年3月31日までにご連絡ください。

・研究内容

以下の内容について電子カルテより収集いたします。

＜基本情報＞

年齢、性別、疾患名、既往歴、発症日、回復期病棟入院日、退院日

＜運転関連項目＞

利き目、利き手、麻痺側、麻痺の程度、麻痺側運転参加、運転評価実施期間、運転再開希望本人/家族、運転目的、運転頻度、運転車種（AT, MT）、自動車改造の必要性、運転再開についてご本人様の自己評価・リハ担当者の他者評価
Mini-Mental State Examination（MMSE）、
revised version of Hasegawa's Dementia Scale（HDS-R）、
Kosh 立方体組み合わせテスト、
Trail Making Test - part A, B（TMT-A, B）、
Behavioral Inattention Test（BIT）、
Rey Complex Figure Test（模写、即時再生）、
Stroke Drivers Screening Assessment（SDSA）

＜退院後の運転状況＞

入院前との運転状況の変化、運転再開をしているか否か、いつから再開しているか、適正相談にいったか、サポートカーを使用しているか、再開後の事故有無、再開をしていない理由

・個人情報の管理について

調査結果は対応表を用いて匿名化し保管します。また、研究関係者以外の第三者が調査結果を閲覧することができないようにします。

本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。

・調査期間

研究を行う期間は倫理審査委員会承認日より西暦 2026 年 12 月 31 日になります。

・医学上の貢献

本研究により対象者となった患者様が直接受けることのできる利益はございません。しかし、客観的かつ公平な評価基準の確立は、同様の疾患の患者様が適切に社会復帰できる可能性が高まると考えます。また、臨床現場においても、担当者の裁量に依存しない透明性のある判断を支援することができ、医療従事者や患者家族にとっても安心感や説明責任の向上という形で貢献できると考えています。

・利益相反に関する事項について

本研究における開示すべき利益相反関係にある企業などはございません。

・研究機関

老年病研究所附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 齋藤 拓之（責任者）

作業療法士 井澤 孝泰

作業療法士 山口 智晴

・連絡先

〒371-0847

群馬県前橋市大友町 3 丁目 26 番 8 号

Tel : 027-253-3311（公益財団法人 老年病研究所附属病院）

担当：齋藤 拓之